

木材保護塗料日本発売40周年 建築家に聞くキシラデコールを選んだ理由

日本エンバイロケミカルズ——キシラデコール

1970年にドイツで誕生したキシラデコール。翌年には日本でも取り扱われ、今年で日本発売40周年を迎えた。「紫外線による劣化防止」「含浸タイプで木材を内側から守る」「微生物や害虫から木を守る」「木目や木の風合いを生かす」「塗りムラが少なく簡単に作業できる」などの特徴で、発売当初から広く普及した。特に木と共に建築文化が育まれてきた日本においては、木目をそのまま残し通気性も保たれるため、木材保護塗料の代名詞といえるまでに浸透した。

発売当時はドイツから輸入していたが、湿気が多い日本の気候風土に合わせるため、独自の研究が進められ、現在ではキシラデコールは国産化している。また国内だけの製品も開発された。「キシラデコールやすらぎ」は白木に塗る透明の塗料で、透明でありながら紫外線を防ぐという難題を日本の技術で解決した製品。「キシラデコール フォレストエージ」は臭気を大幅に低減した溶剤を使用しており、臭いを気にせず施工できるためホテル、商業施設、福祉施設、学校な

どで採用が進んでいる。

これらの製品は本誌や『新建築』で掲載した多くの建築で採用されている。そこで今回は2誌で掲載した9つの建築の設計者にキシラデコールを選んだ理由をお聞きした。性能だけでなく使いやすさなど、さまざまな意見が集まった。(編)

問合せ 日本エンバイロケミカルズ株式会社

☎ 0120-124-123

<http://www.xyladecor.jp/>

この頁撮影：新建築社写真部



SPROUT (設計：峯田建+恩田恵以/スタジオ・アーキファーム一級建築士事務所、埼玉県所沢市、本誌1006) 外壁のスギ板にキシラデコール塗布。「自主施工で塗装を行う際に作業性がよいので採用しました。初心者でもさほど色ムラなく塗れて、耐久性にも実績があり、色数に選択肢が多いのも有り難いです。」



姉妹の家 (設計：奥野公章建築設計室、山梨県西八代郡、本誌1006) 外壁のスギ板などにキシラデコール塗布。「『姉妹の家』では軒天井で構造材を現しにする仕様としたため『防腐』に加え『防虫効果』も高いキシラデコールを採用しました。外壁では『より高い性能』と『仕上がり』を実現するため材料を工場で両面塗装し使っています。」



岩の家 (設計：日置拓人+南の島工房一級建築士事務所、神奈川県鎌倉市、本誌1005) 外壁のスギ板などにキシラデコール塗布。「超仕上げしたスギ板に仕上げとして使用。伸びがよく色ムラが出にくく、木目も残っていて自然な風合いを失うことはありません。あとはどのくらい紫外線、雨水に強いのか、今後も外壁の経年変化を見守っていきます。」



冒険者たち (設計：平山俊建築設計、神奈川県南足柄市、本誌0911) 外壁のケンバスにキシラデコールやすらぎ塗布。「外壁に使用する木材がもつ風合い、色味を活かしたいと考え、保護塗料塗布後も、もともとの表情を損なうことなく、同時に耐久性に優れているキシラデコールやすらぎを使用しました。」



森xhako (設計：前田圭介/UID、広島県福山市、『新建築』0906) 外壁のスギ板にキシラデコール塗布。「『森xhako』では木材の経年変化によるテナントビルの価値観を考えると、安全性と耐久性、そして微妙な調色の観点から選択しました。竣工から2年が過ぎ森の木々と一緒に、より自然な風合いになってきています。」



リクライニング・ハウス (設計：安原幹+大坪輝史/SALHAUS+6D、神奈川県横浜市、本誌0908) 外壁のレッドシダーにキシラデコール塗布。「インテリアの木貼りの壁を延長するイメージで外壁を部分的にレッドシダー羽目板張りとしています。実績・信頼性からキシラデコールを選択。内外の壁が連続して見えるよう、色の調合を行っています。」



葉山の家 (設計：岸本和彦/aca、神奈川県葉山町、本誌0905) 開口部の木製建具にキシラデコール塗布。「われわれの事務所でもキシラデコールといえばジェットブラックか白木と決めています。いずれも木の意匠を素直に引き立てながら耐久性を高めてくれます。乾燥の早さと優れた浸透性、コストパフォーマンスの高さも選ぶ理由でした。」



森の住処 (設計：眞田大輔+名和研二/すわ製作所、長野県茅野市、本誌0904) 外壁のサワラにキシラデコール塗布。「サワラ材の柔らかな木肌の質感を保ちつつ耐光性をもたせる『含浸タイプ』であること、施主がメンテナンスするうえで塗りやすく、かつ近くのホームセンターで購入できるという条件でキシラデコールを選びました。」



白州の週末住宅 (設計：大塚聡アトリエ、山梨県北杜市、本誌0710) 外壁のバインにキシラデコールやすらぎ塗布。「木のよさを活かすステイン系塗料は、顔料の入っている方が耐久性に優れるが、ここでは、より木の質感を活かしたかったので、無塗装のような透明感がありながら耐久性も優れているキシラデコールやすらぎを使用しました。」